

地域の現状について(地域交通)

第2回 練馬区立大泉第二中学校の教育環境保全および
都市計画道路の整備に関する有識者委員会

1 交通量について

■調査箇所

区では、以下の3か所において7時～19時までの12時間自動車交通量の調査を行っています。

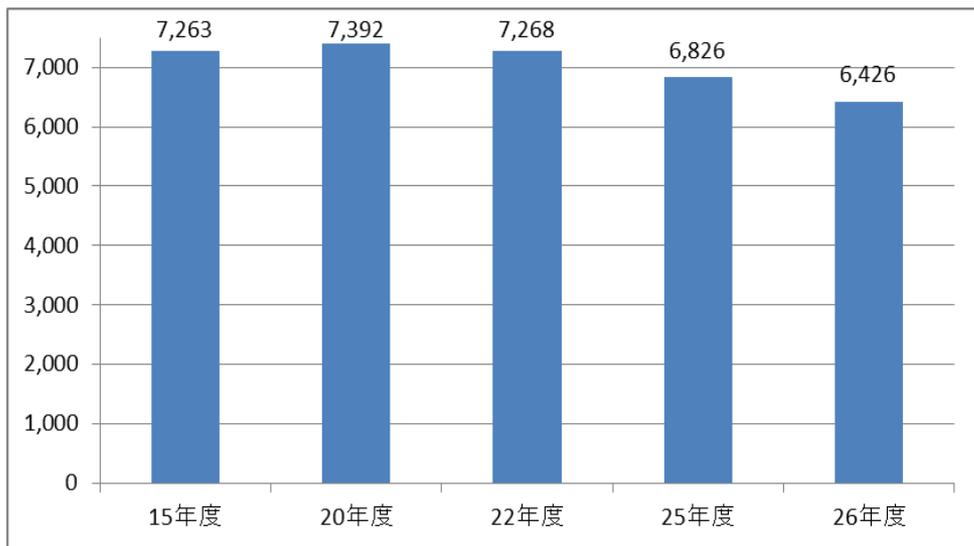
- 学芸大通り・・・①
- ロードふじみ・・・②
- 主要区道42号線・・・③



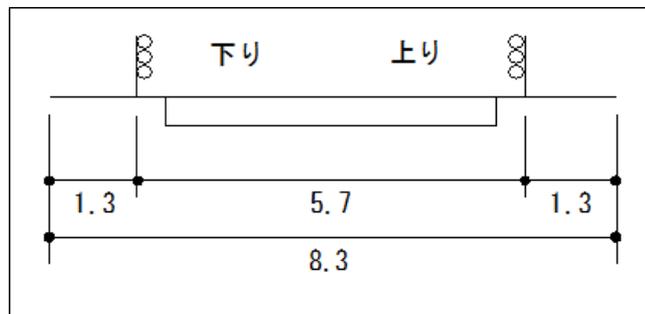
1 交通量について

■学芸大通り

●平成15年度から平成26年度までの自動車交通量は微減していますが、状況に大きな変化はありません。



自動車交通量



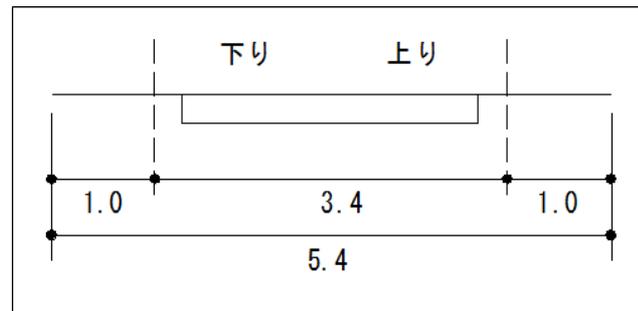
道路幅員



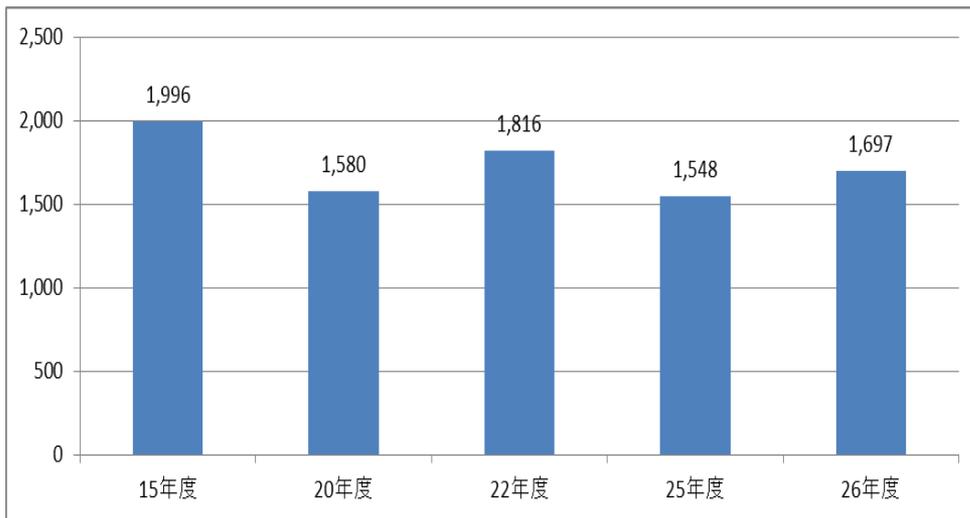
1 交通量について

■ロードふじみ

●平成15年度から平成26年度の自動車交通量は概ね横ばいで推移しています。



道路幅員



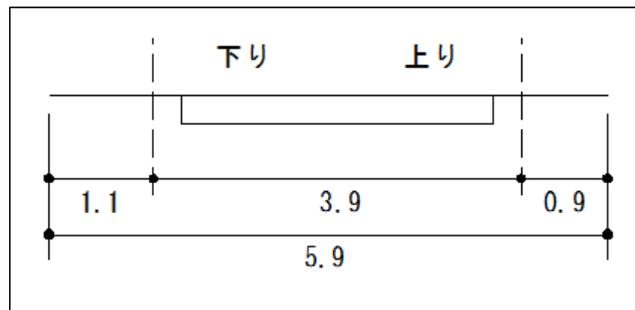
自動車交通量



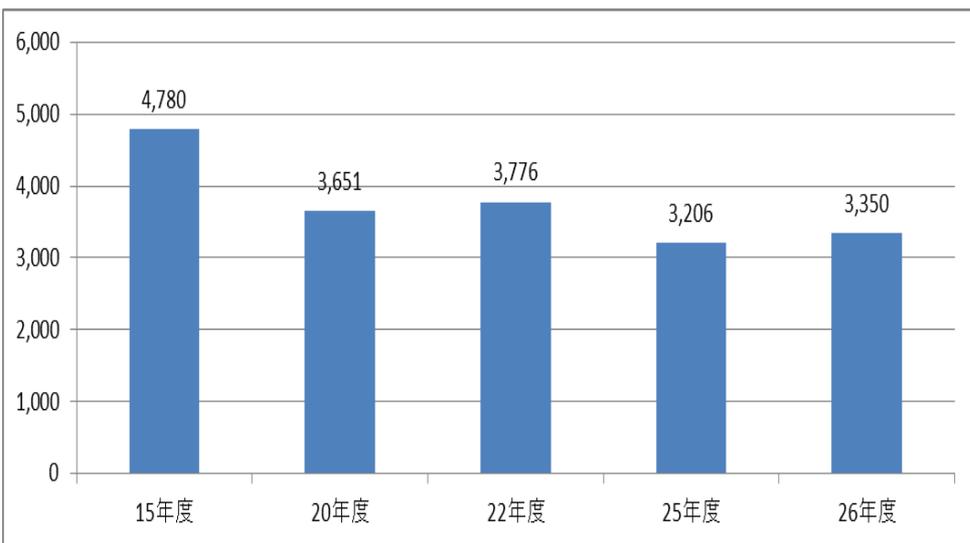
1 交通量について

■ 主要区道42号線

●ロードふじみと同様に概ね横ばいで推移しています。



道路幅員



自動車交通量

2 渋滞長について

■ 学芸大通り

調査概要

調査年月日：平成24年2月21日（火）

調査時間：16時～19時の間の10分ごとに測定

調査地点：大泉学園駅南側交差点

方向：南⇒交差点

天候：晴れ

●調査時間内において、渋滞長の最大が120m、平均で37mでした。

●滞留長は最大で約210m、平均が103mでした。



単位：m

	最大		各時間帯の平均	
	滞留長	渋滞長	滞留長	渋滞長
16:00~17:00	130	70	86	30
17:00~18:00	150	60	80	17
18:00~19:00	210	120	143	63
	3時間平均		103	37

滞留長とは

観測地点の信号が「赤」から「青」に変わる瞬間の停止線から最後尾の車両までの距離を計測。

渋滞長とは

滞留長で観測した車両が、その青信号で捌け残った場合、停止線から滞留長で観測した車両までの距離を計測。

3 交通事故について



警察	学芸大通り			ロードふじみ			学芸大通りおよび主要区道42号線の内側の地域		
	年度	H27	H26	H25	H27	H26	H25	H27	H26
物損事故	8	7	7	3	4	4	5	7	5
人身事故	4	5	5	4	5	6	3	7	6

出典:石神井警察署への聞き取り調査

- ロードふじみにおいては特定の箇所で事故が集中しています。人身事故、物損事故ともに発生しています。
- 学芸大通りでは事故が分散しており、物損事故が多く発生しています。



①



②

出典:区資料